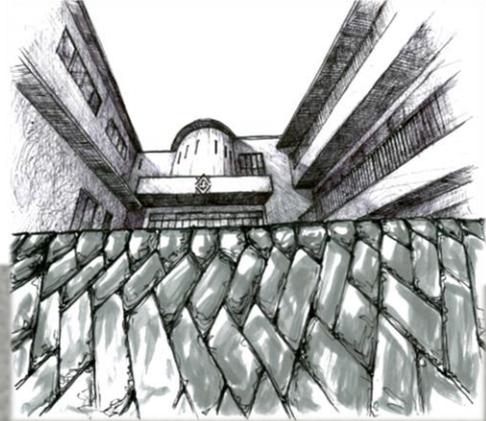


学校目標「自主性を養う」

～自ら考え 自ら判断し 自ら行動できる生徒～

6つの重点

- ・挨拶の行き交う
- ・時を守る
- ・清掃に打ち込む
- ・歌声が響く
- ・学習に集中する
- ・読書に親しむ



【めざす生徒の姿】

「好き」や「楽しい」、「なぜ」とことん追求できる三中生

○知識や技能を活用する力 ○個性を伸ばし、よりよい人間関係を築く力 ○自立的に行動する力

重点1「誰もがわかる」 (学力の向上)

重点2「自分らしく生きる」 (居心地のよい学級)

重点3「地域とともに」 (保護者や地域との連携)

◆生徒の「主体的・対話的な学び」や「個別最適な学び」を保障し、知識や技能を活用する力を育成する

□「生徒の多様性」に着眼し、生徒自身が自ら個に応じた学びを選択できるように支援する

□「わかる授業・できる授業」をめざす授業研究を進め、学力向上を図る

- ・数学授業における単元テストの導入
- ・数学と英語授業の少人数コース別学習の導入
- ・新聞を活用した授業づくり

◆すべての生徒が自分らしく生活できる学年・学級づくりに努める

□「さわやかな挨拶」「かかとの揃った下駄箱」「美しい歌声」をめざす

□生徒一人ひとりのよさを活かして、生徒に応じた支援を行うために職員全員で情報共有し、連携して取り組む

- ・年3回の教育相談を充実させる
- ・個別指導計画の作成と有用活用
- ・スクリーニング会議(毎月)の実施
- ・確実な状況把握と早期対応
- ・学校環境適応感尺度アセスの活用

◆保護者や学校運営委員、地域と協働して学校運営を進める

□地域ボランティアと連携し、個に応じた学習支援や補充的な学習や花づくり等を行う

・『月曜朝の学習(ASAGAKU)および『スイッチ(水曜放課後+地域の方と学ぶ)』を通じた学習の定着と意欲向上

□総合的な学習の時間や職場体験を通して、地域を知り、地域に学び貢献する

□学校開放や学校だより、HP等を通して、広報し、地域に開かれた学校づくりをめざす

研究テーマ 生徒一人ひとりが自ら課題を追求し、「できた」「わかった」と実感を持って、自分の考えを表現できる授業のあり方
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～

○自ら授業を見合い、研究する機会を設けるとともに、「チーム対応」を行う職員集団として、互いに研修を通してより良い授業の在り方を共有しながら協働化を高める

○生徒を主体にした学習課題の設定と教科の特色ある授業展開で、生徒が自ら課題に向かい、多様な学習方法で追求できる授業作り

○生徒一人ひとりの特性に応じた学びの追求を支える環境と支援の充実

◆生徒会活動 生徒の思い

生徒会スローガン It's 笑 time

『さんぽス、あさピン、三中アケトなど、新企画を通してスローガンに込めた、ひとり残らず全員が心から笑える時間を大切にしたい。』という願いのもと活動していきます。

◆保護者や地域の願い

○いじめや差別がなく、豊かな心を持ち、明るく育てほしい。

○自ら学び、地域から学び、考える力を身につけてほしい。

○学校と地域が連携し、皆で第三中を大好きな学校にしたい。

◆上田市教育支援プラン基本理念

「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」

○「確かな学力」を培う

○グローバル社会を生き抜く力や、ふるさとを愛する心を育む

○夢や希望を持って未来を切り拓く力を養う

三中プライドと三中愛、やる気を育む

私の学校・学年・学級が大好きといえる生徒と職員

背景の石垣について

①全校生徒と職員、保護者の結束を示しています。全員参加の学校をめざす

②ひとりもとり残さずに過ごせる学校を示しています

③16,000人を超す卒業生や保護者、地域の教えや支えを土台にして、三中城は不落をめざします